



国際ロータリー2630地区

名張ロータリークラブ

2025~2026

○会 長 小川 貴 司
○会 長 エレクト 藤 森 至
○副 会 長 宮 尾 保 範
○幹 事 坂 本 幸 嗣
○管理・親睦運営委員長 今 中 武 美
○広報・会報委員長 丹 下 剛 一

**UNITE
FOR
GOOD**

よいことの
ために
手を取りあおう

○例 会 場

名張市南町822-2 名張産業振興センター(アスピア)
TEL 0595-64-5353

○事 務 局

〒518-0729 名張市南町822-2
名張産業振興センター4F
TEL 0595-63-1338 FAX 0595-63-8163
月～木曜日 10時～15時(休憩12～13時)
E-mail nabarirc@e-net.or.jp

第 2855 回例会

6 月 1 日(月)12:30 点鐘

本日のプログラム

【総司会】宮尾 保範 副会長
【ソング】

君が代／四つのテスト

【行事】入会式／誕生日、結婚
記念日お祝い／次期会長方
針発表

【次回のお知らせ】

6/10(水) 第 2856 回例会 ガ
バナー補佐訪問／名張中央との
合同例会 18:30

前例会の記録

第 2854 回例会

5 月 25 日(月)12:30 点鐘

○ゲスト

名張市社会福祉協議会 地域福
祉課生活支援係 中川 久美子様
青少年交換夏期派遣学生 高尾
愛生様(県立名張高等学校)

○ビジター

○出席報告

会員数 40 名
欠席人数 10 名
出席人数 30 名
出席免除者 0 名
事前メーキャップ 0 名
出席率 84.62%

○5/11(月)の出席率は

84.62% 訂正なしです。

♠ 例会予定

6/1(月) 第 2855 回例会 入会式／誕生日、結婚記念日お祝い／次期会長方針
発表

6/10(水) 第 2856 回例会 ガバナー補佐訪問／中央との合同例会 18:30

6/15(月) 特別休会

6/22(月) 第 2857 回例会 下半期クラブ協議会(年間総括)

6/29(月) 第 2858 回例会 下半期クラブ協議会(退任挨拶)

♠ 国際大会 6/12~16 台湾・台北 6/14 ガバナーナイト

♠ 地区の予定

6/28(日) 11:00~15:00 派遣候補学生オリエンテーション

(都ホテル岐阜長良川)

♠ 家庭集会の予定

6/11(木) 当番リーダー:井上 出席者:廣野 丹下 城山 大藪

6/25(木) 当番リーダー:小川貴 出席者:福本 浅津 藤森 坂本

♠ その他

6 月度理事会 6/1(月) 11 時 00~

♠ 6 月のお祝い

会員誕生日: 三木 脇坂 岩見

パートナー誕生日: 勝木充子 廣瀬育子

結婚記念日: 森本



【会長の時間】小川会長 「東海道五十三次」

会員の皆さん、こんにちは。ゲストスピーカーの中川久美子様、本日はお越し
頂き有難うございます。宜しくお願い致します。

昨日は津南 RC の創立 60 周年記念式典に亀井直前ガバナー、足立名張中央 RC 会
長と共に参加しました。「祝宴演奏」で披露された“横笛と和太鼓”の演奏は横笛
の日本的で素朴な音色と和太鼓の迫力ある掛け合いが絶妙でひと時心を奪われ
ました。

さて、今日は江戸時代の日本の大動脈と言える「東海道」について話したいと
思います。「東海道」は江戸幕府によって整備された江戸日本橋を起点とする東海

道・中山道・甲州街道・奥州街道・日光街道のいわゆる「五街道」の代表格とも言える街道です。「東海道五十三次」は東海道にある 53 の宿場を指して、古来より風光明媚な場所や名所旧跡が多くて浮世絵や和歌・俳句の題材に取り上げられて来ました。東海道の一部とされる大坂までの 4 宿（伏見宿・淀塾・枚方宿・守口宿）を加えて「東海道五十七宿」と言われることも有るようです。江戸日本橋～京三条大橋までは 24 里 8 丁（487.8km）で、昔の人が普通に歩いて約 2 週間位かかり、1 日に 30 km あまり歩いたようです。その当時、今の郵便・宅急便や電話の役目をしていたのが「飛脚」で、江戸から京まで 3～4 日で走ったようで正に超人的速さです！幕府は各宿場に「飛脚」を置いて公用の手紙や荷物をリレーしながら目的地まで届けたのです。宿場は古代、「宿駅」と呼ばれて現代、正月開催の大人気の伝統の「箱根大学駅伝」の源流は「飛脚」やったんですね！「東海道五十三次」には旅籠が全部で 3,000 軒くらい有ったと言われ、人口が多い江戸や京周辺、「箱根峠」や「七里の渡し」等、交通の難所を控えた宿場に多かったようで、「七里の渡し」の港が有った宮宿（熱田宿）には 247 軒とその数は群を抜いて日本一の宿場であったとのこと。又、その対岸の「桑名宿」も 120 の旅籠が有ったようです。「桑名宿」は玉野ガバナーの出身地で、地区大会の折は安田地区代表幹事とペアで「七里の渡し」をビデオ出演して紹介されていました。いずれにしても日本は江戸幕府三代将軍「徳川家光」の代の 1639 年（寛永 16 年）に鎖国体制を完成させて、ペリー来航による 1854 年（嘉永 7 年）の開国まで約 200 年間の鎖国によって日本各地それぞれの地域ごとに特産品の生産が活発となり、その土地独自の産業や技術、文化が育成されるきっかけになったようです。とりわけ浮世絵、錦絵や藍染め、織物等の工芸品は世界からも注目を集めました。現代の東海道は「新幹線」、「東名・名神高速」等です。会員の中にも新幹線の定期券を持ってんのと違うの？と思われる程に新幹線を利用されてる方も有るようです。会長の時間でした。



【幹事報告】 ◎お知らせ ・令和 7 年 12 月青森県東方沖地震支援に対する皆様からのご支援は 27,711 円です。5 月 19 日に送金させていただきました。 ・6/11(木)を今年度の会計締切日にしたいと思います。請求書や旅費などが、まだの方は事務局までお知らせください。 ・森本 雅史様の入会については、本日中に異議がなければ入会日を調整後、皆様にお知らせします。 **理事会報告** ・5 月 18 日をもって、伊集君より退会届が提出されましたので、受理させていただきました。それに伴い、臨時理事会におきまして、杉本君が幹事になりますことをご報告させていただきます。

◎他クラブ例会の変更 上野東ロータリークラブより 6/23（火）最終夜間例会 18:00 点鐘 6/30（火）公認休会
※ビジター受付は 6/23 12:00-12:30 ヒルホテルサンピア伊賀フロント横事務局にて
※その他は事務局にてご確認ください

■卓話 名張市社会福祉協議会 なばり暮らしあんしんセンター 中川様

本日は「三方よし」の地域社会を目指して（地域には、まだ活かされていない力がありま



す）というテーマでお話しさせていただきます。まず皆さまは、「福祉」と「就労」という言葉を聞くと、どのようなことを思い浮かべるでしょうか。障害者雇用を思い浮かべる方も多

生活困窮者自立支援事業は平成 27 年から始まった制度です。生活保護の一手手前の段階で支援を行う制度と言うと分かりやすいかもしれません。仕事のこと。住まいのこと。病気のこと。借金のこと。家族関係のこと。さまざまな問題が重なり、生きづらさを抱えている方の相談を受けています。実際に相談に来られる方は、長期間ひきこもり状態にある方介護離職された方就職氷河期世代で不安定な雇用を経験してきた方低年金で生活に困っている方多重債務を抱えている方など、本当にさまざまです。

今日は 3 名の事例をご紹介します。まず A さん。41 歳の男性です。高校卒業後にアルバイト経験はありましたが、その後は長期間のひきこもり状態となっていました。社会との関わりがほとんどない生活が続いていました。次に B さん。53 歳です。介護のために転職し、その後職場に馴染めず離職されました。パソコンのスキルはありましたが、「自分なんてもう無理だ」と自信を失っていました。そして C さん。23 歳の男性です。専門学校卒業後、一度も就職経験がありませんでした。昼夜逆転の生活を送り、人との会話もほとんどない状態でした。このような方々に対して、私たちはいきなり就職を目指すわけではありません。まずは生活の安定です。住まい。家計。健康。家族関係。必要な支援を行いながら土台を整えていきます。そして次の段階として、社会とのつながりを取り戻すための支援を行います。そのひとつが就労体験です。

ここで企業の皆さまのお力をお借りしています。実は就労体験の受け入れをお願いすると、企業の方からよくこんな声をいただきます。「うちにできるかな」「任せられる仕事があるかな」「安全面は大丈夫かな」という不安です。これは当然のことだと思います。

有限会社ウメザワ様も最初は同じでした。木工機械を扱う現場ですから、安全面の心配もありました。しかし実際に作業を分解してみると、検品測定梱包整理整頓など、さまざまな仕事がありました。また就労体験には社協職員が同行し、保険も加入しています。企業の皆さまの負担をできる限り軽減できるようにしています。そして就労体験を通じて見えてきたのは、履歴書だけでは分からない本人の強みでした。几帳面さ。責任感。器用さ。集中力。周囲への気配り。そうした力が少しずつ見えてきます。

結果として、A さんは建設関係の企業へ就職し、現在は事務業務も任されています。B さんは有限会社ウメザワ様へ就職し、今では欠かせない人材として活躍されています。C さんも複数の就労体験を経て、現在まで継続して就労されています。

私たちはこの取り組みを通して感じています。「働かない人」なのではありません。「社会との接点を失って動き出せなくなっている人」なのだということを。そして、もうひとつ大切なことがあります。企業は採用基準を下げる必要はありません。評価の順番を変えるだけでよいのです。通常の採用では、履歴書→面接→採用→実務→評価という順番になります。しかし就労体験では、まず関わる。一緒に働いてみる。その上で判断する。という順番になります。履歴書の空白期間。年齢。過去の失敗。家庭の事情。それだけでは見えない力があります。実際に関わることで初めて見えてくる可能性があります。もし地域の中で、このような受け入れ企業が増えていけばどうなるでしょうか。本人に合った仕事を見つけやすくなります。就職後のミスマッチも減ります。企業は人材不足の解消につながります。地域全体も元気になります。まさに求職者よし企業よし地域よしの「三方よし」です。地域には、まだ活かされていない力があります。私たちはこれからも企業の皆さまと連携しながら、一人ひとりの可能性を地域の力につなげていきたいと思っています。本日のお話が、そのきっかけになれば幸いです。ご清聴ありがとうございました。



■交換留学生スピーチ 高尾さん（日本語訳）

みなさんこんにちは。今日は私が留学をしようと思った理由と、伊賀名張の食材について話そうと思います。私は中学生の頃から留学をしたいと思っていました。違う世界があることを知り、経験してみたかったからです。そして海外での経験は必ず私を成長させるだろうと考えていました。そんなときに私の学校に留学生募集がありチャ

ンスがきた！！と思い応募しました。そしてなぜ留学先をフィンランドにしたのかというと、フィンランドは社会や教育の仕組みが有名で、日本と全く違う教育制度がどんなものか気になったからです。留学では一層成長して日本に帰ってこれることができればいいなと思っています。

次に伊賀名張の美味しい食材について紹介します。伊賀名張の美味しい食材で有名なのは「伊賀牛」と「伊賀米」と「日本酒」です。まず伊賀牛とは、伊賀名張地域で育てられる黒毛和牛です。伊賀牛は赤身が柔らかく、旨味の強いことが特徴で、選ばれる基準が厳しいことで有名です。伊賀米は伊賀盆地と呼ばれる自然豊かな土地で育てられる米で、日本の米ランキングではトップクラスを獲得しています。つぎに日本酒です、伊賀名張は水が綺麗なため伊賀名張で作られる日本酒は有名です。「而今」や「瀧自慢」などがあり、国際会議の場でも呑まれています。最後に私がおすすめするのは、赤目滝で売っている「赤目プリン」です。デザインもとてもかわいく、どの味もとても美味しいのでぜひみなさん食べてみてください。これで発表を終わります。



■5月総評 浅津会場監督

5月は3回の例会があり、11日の春の親睦家族例会は山水園キャンプ場であり、33名の出席で、楽しいひとときを過ごすことができました。管理親睦委員会の皆さん、手際よく準備・後片付けをしていただき、ありがとうございました。18日の例会では、薦原地域づくり委員会の田畑様のお話で、小学校校舎を使った災害避難体験や、夜の校舎を使った肝試しなど、楽しい災害対策訓練、過疎化がすすむ地域興しの一助となり、他地域の良き参考になると思います。そして、今日の高尾さんの留学前のご挨拶、どうか、意義ある留学にしていきたいと思います。そして、社会福祉協議会の中川様の卓話、生活困窮者への支援についてのお話でしたが、ロータリーの職業奉仕にも合致した支援事業と考えます。私たちロータリアンの協力を願いたいところです。



【ニコニコBOX】本日の合計金額 31,000円

○梅澤君、今日はよろしくお願いします。(ゲストスピーカー) 中川久美子様、(派遣留学生) 高尾愛生さんをお迎えした歓び 小川会長

○本日の卓話 社会福祉協議会 中川様 よろしくお申し上げます。 坂本幹事 三枝君 中島君 浅津君 城山君 的場君 川口君 井上君 幸松君 宮尾君 奥田君 廣瀬君 森本君 廣野君 三木君 今中君 丹下君 隠地君 脇坂君 玉田君 遠山君 大藪君 梅澤君 富永君 橋本君

○此の度、当神社本殿焼失に際し、色々ご心配をお掛けし申し訳ありません。 中森君

○愛生ちゃんようこそ～ 瓦井君

